

前回検討会での指摘事項について

令和元年12月

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

1. 前回検討会での指摘事項（振り返り）

■意見交換要旨

Q1) タイムラインレベルの解除に関しては誰が実施するのか？

A1) 国が実施する。

Q2) 佐波川流域における特に危険な箇所はどこか？

A2) 危険箇所を中心に危機管理型水位計を複数設置しており、河川管理の充実を図っている（「川の防災情報」においても配信中）。

Q3) レベル0では3日前、2日前の対応となるが、レベル0の段階では、夜間対応は実施していないため、そのような実情を考慮して運用を実施してほしい。

A3) タイムラインの立ち上げ等の周知は、日中に実施するように配慮する。

Q4) タイムラインの運用に際して、情報共有手段はFAXを希望しているが、実際にはどのように多機関での情報共有を実施していく予定なのか？

A4) 関係機関の要望等を踏まえ、今後事務局で検討していく。

Q5) 災害関連情報に関しては、Lアラートを県と共同で活用しているが、タイムライン運用上の情報提供との整合性はどのように考えているのか。情報の重複がなるべくないようにしていただきたい。

A5) 次回の検討会で具体的に提示する予定である。